



アド・ネ ット

☆青少年育成アドバイザー関連のホームページ☆ <http://www.shimane-youth.gr.jp/category/news/adviser>



今回のトピックス

平成26年度「青少年育成関係者総合研修会」が大田市の「ほっとスペースゆきみーる」で開催され、子ども・若者育成支援に関わる方や関心のある方が集いました。

今回の研修会では、パネルディスカッション・ティータイム・グループワークの3部構成により行われ、「子どもの心が開くとき」をテーマに活発な議論が繰り広げられました。

表紙の写真は、グループワークのあとに行われた「振りかえり」で発表している様子です。皆さんの思いなどが模造紙一面に書かれてあります。

この研修会の詳細につきましては、次のページをご覧ください。

平成26年度青少年育成関係者総合研修会（大田大会）開催

●第1部 パネルディスカッション・・・熱い議論が展開されました！

「子どもの心が開くとき」のテーマに従って質疑・討論形式で掘り下げていきました。

島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会の原会長がコーディネーター、青少年育成アドバイザーの福田悟さん、出雲保健所主任保健師の安達愛子さん、青少年育成島根県民会議事務局次長の林和博さん3名がパネリストとなって、指導者等の視点から経験などをもとに説明されました。その中で、パネリストの安達さんは「支援者は子どもや保護者の良き理解者であること」「連携できる機関の情報をもち、統一的な対応ができるよう情報を共有すること」が大切であり、自身の健康管理もきちんとしなければならないと力説されました。そのあと、質疑応答があり、活発なディスカッションが展開されました。



●第2部 ティータイム・・・美味しいお寿司や飲み物などが勢揃い！！

活発なディスカッションのあと、喉がかわいたということで、ティータイムの時間を設けました。その中で、大田市子育て支援課の向田課長さんと松本主任主事さんから大田市の子育て支援の取り組みについて説明していただきました。その後、アドバイザーの和崎さんと辻さんによる楽しいじゃんけんゲームで参加者のみなさんは和やかな雰囲気を楽しみました。



●第3部 グループワーク・・・キーワードは「連携」「調整」「傾聴」「聞く」

今回のグループワークはワールドカフェ形式（カフェ空間で雑談する時が活発な議論ができる考えのもとにテーマを深める形式）で、「その後の桃太郎」というシナリオを用いて、思春期の桃太郎に対してどのようにカウンセリングをしたら良いのかを議論するためにワークショップを行いました。その中で、成長した桃太郎を過度に心配するおばあさんに対して「ほっときやいいじゃん」「竹取おばあさんを紹介する」といったユニークな意見もありました。

研修会終了後のアンケートでは、「子ども達の置かれた立場へのアプローチの難しさを感じました。」「それぞれの機関の方の思いや発想の面白さを聞く経験ができてよかった。」「ワールドカフェ方式で1つのことに対する認識がどんどん広がっていくのを実感しました。」といった感想があり、今回の研修で平均88点の評価をいただきました。